

平成30年度 大阪府立摂津支援学校 第1回 学校運営協議会 実施報告書

1. 日 時 平成30年7月19日(火) 10:00～12:00

2. 場 所 本校 会議室〔2階〕

3. 出席者 〈学校協議会委員〉

西野 陽一（大阪工業大学） 大矢 優子（摂津市教育委員会）

松元 広美（ダイキンサンライズ摂津） 熊谷 達也（茨木・摂津障害者就業・生活支援センター）

中井 啓夫（高槻市柱本自治会） 横路 優香（本校PTA会長）

〈摂津支援学校〉

校長（大峠） 教頭（川村・南） 事務長（洲本） 首席（小野）

首席兼教務部長（坂部） 首席兼高等部主事（三牧） 部主事（内海・平水）

〈傍聴者〉3名（本校保護者）

年間テーマ及び協議事項 「明日も行きたくなる学校」をめざして

主な内容 ① 今年度の学校経営計画について ② 各学部の教育課程（小学部・中学部・高等部）
③ 今年度の使用教科書について ④ 授業アンケート

4. 説明・質問・協議内容等

(1)はじめに *配付資料説明 ※高等部3年生が接客

- ・ 傍聴規則の確認
- ・ 校長あいさつ

先月の地震について、幸いにも本校関係者には人命にかかわるような事案は無かったが、本校は摂津市の一時避難所に指定されている。今月初めの大雨の際は、摂津市職員の方が一時避難所としての準備をされていた。今後も学校として、子どもたちの安心・安全を第一に掲げていきたい。

今年度より学校協議会が学校運営協議会になったことでの変更点は大きく2点で、1つめはこれまで学校経営計画に対してご意見をいただく形であったが、今後は承認をいただくことになる点、2つめは職員の任用について意見を具申しただけのことになった点である。1つめについては、今年度は時期が前後しているため、今回いただいたご意見を反映していくことになる。また協議会の委員の任期等についても、新たに規定された。今回より新しく委員をお願いしている方もいるが、ぜひ本校の発展に向けて、活発なご意見を賜りたい。

- ・ 学校協議会委員及び事務局の紹介
- ・ 会長、副会長の選出 推薦により、西野陽一氏を会長に、大矢優子氏を副会長に選出。

(2) 学校より報告および協議〔進行：会長 記録：教員〕

①学校経営計画について

〔校長〕 今年度の計画では特に以下の2点を重点的に考えている。

まず中期的目標2(2)授業力向上は、昨年度より記載していたが、今年度実際に「TT連絡票」を始動させた。目標率80%と設定しており達成はかなり厳しいと予想されるが、ぜひ実践していきたい。

次に同じく1(3)防災教育の充実について、従来作成していた災害時の体制は、今回の地震で想定どおりにはいかないことがわかった。今回の地震発生は8時前で登校途中ということで、自主通学生の安否確認に時間を要した。またガスが止まっていたため、その時点で炊けていた給食用ご飯で作ったおにぎりや個人持ちの備蓄用非常食を保護者引きつぎ待ちの児童生徒および教職員に提供、喫食したが、こ

れがもし、一晩以上泊まるような事態になると十分とは言えない。

また、いわゆるBCP（学校再開に向けた計画）についても、体制整備が必要である。今回は摂津市で翌19日に課業していたのは摂津高校と本校くらいであり、他校との対応の違いについて様々なご意見をいただいたが、子どもたちの居場所づくりのために、無理のない範囲でできるだけ早い段階で学校を再開するというのは大切なことと考えている。今年度は大きくこの2点について取り組みたい。

[委員] 災害時にマニュアルどおりに動くのが難しかったとの話があったが、マニュアルの見直しばかりしても、実際にそのように動けないなら意味がない。ぜひ実際場面に即したものにしてほしい。

自主通学生の安否確認はどのように困ったのか。実際の災害時にどのような行動をするべきか考えられる力をつけていかないといけないのではないか。

[校長] 登校中の生徒の中には、モノレール乗車中で途中下車させられたり、携帯電話を持っていなくて居場所がつかめない例があった。これに関しては100円硬貨をパウチした「助けてカード」の作成を計画している。

[委員] 授業改善については、ただ良い授業をして楽しかったというので終わりではなく、子どもたちにどうなってほしいかというゴール、目標を明確にしておいてほしい。

[委員] 学校経営計画は、今後は第3回運営協議会で翌年度分を承認という形でよいのか。

[校長] そのような形になる。

授業見学（高等部3年 学年活動「学年喫茶」および小学部6年生とのきょうだい学年交流）

② 各学部の教育課程（小学部→中学部→高等部）各学部主事より説明

[委員] 小学部の途中の転入生は多いのか。入学時は保護者が地域の小学校に入学させたくて入学したものの、小3、4年生くらいになると様々な問題が起こり、やはり支援学校に転入というパターンが多いように感じる。途中で転入というのは学校側として大変なのでは？

[教員] 今年度の転入は転居によるものと地域からと両方あった。

[校長] 実際には相談のみも含めると、本校の中だけでも年間数件は転入希望の話は聞く。支援学校から小学校への転出はまず聞かない。現場としては転入で子どもの数が増えても教員増にはならず大変であるが、校長としては転入はいつでもどうぞと言っている。支援に転入したがっている子は、学校生活がうまくいっていない場合が多く、長欠・不登校になりがちであり、これが2ヶ月も続けば、家から出にくくなってしまう。そのような子どもをできるだけ減らしたい思いがある。

[委員] 放課後デイサービス事業所の送迎車の台数の多さに驚いたが、利用する子どもの数は、中学・高等部くらいになると減っていくのか？

[校長] 本校は共働き家庭が多く、小中学部で利用開始した家庭はたいいてい高等部も利用継続している。多い日は30台弱が校内に停まる。事業所数は飽和状態に達していて、今後は減少していくのではないかと。また今後は、事業所（福祉）と学校が協力していくような流れになっていくだろう。

③ 今年度の使用教科書について

[教員] 【学校要覧、学校教育計画について】学校要覧は府教委より標準的な内容が定められており、それに基づいて作成している。学校教育計画も構成が定められており、第1章（2）（8）は支援学校のみ、記載を指定されている項目である。また目次で○印が付いている3項目は、本校独自に組み込んだものである。

【教科書採択の流れについて】6月上旬に府教委で採択の要領に関する説明会があり、それを受けて7月上旬までに各学部で選定したものを府教委に報告、現在は報告内容について府教委から指摘を受けたものを各学部で再検討しているところである。最終的には8月下旬に、府教委が決定する。

【教科書の種類について】支援学校で使用できるものは、①民間の教科書会社が作成し、文科省が検定

をした「検定本」、②文科省が作成した「著作本」、③学校教育法附則第9条の規定により府教委が教科用図書として一般図書から選定した「9条本」、④「9条本」以外の一般図書から各学校が選定した「一般図書」の4種類がある。②「著作本」は通称「☆本」と言い、「こくご」「さんすう」「おんがく」の3種類のみである。また④「一般図書」は高等部のみ選定可能で、現物を府教委に提出、確認されたもののみ使用できる。

小学部では今年度から、中学部では次年度からの「道徳」の教科化に伴い教科書も選定されている。また高等部では卒業後も手元に置いて使えるという視点で選定しているものもある。

[委員] 教科書の数も多い中、選定は難しいかと思うが、実際に選定される際どのような視点で選ぶのか。

[教員] 次年度のものを選定していくので、まだ顔を見ていない新入生分の選定は難しい面もあり、これまでの実績、経験に基づいて選定する。2年生以上は児童生徒の実態に応じて選定している。

④ 授業アンケートについて

[教頭] 今年度は生徒用にイラスト版も作成し、文書版とイラスト版のどちらでも使用できるようにした。

また保護者用にはご意見欄を設け、設問に対する回答以外の意見を記入しやすくした。第3回の協議会で報告させていただく。

[委員] 毎年、保護者からの回収率が低いということで、PTAからの呼びかけ等協力してもらってはどうか。

[委員] 学校経営計画に授業改善のことを記入されているので、アンケート回収率は重要なのではないか。

[校長] もちろん保護者の声は重要だが、まずは内部の声、教員同士の互いの評価を活発にさせたい。

(3) 意見書について

今回は意見書なし

(4) まとめ

・会長より

ご意見をいただきスムーズに進行できた。今後も委員の皆さんからたくさんのご意見をいただきたい。

・校長より

本日はお忙しいところ貴重なご意見をいただきありがとうございます。予定外の授業見学を入れたことで時間が押して申し訳なかったが、子どもたちの実際の様子を見ていただくのが一番だと思い、ご案内した。子どもたちが楽しんで活動している姿を見ていただけたと思う。教育計画に掲げた「明日も行きたくなる学校」をめざしていくので、今後もぜひともご意見を賜りたい。

(5) 事務局より諸連絡

・次回の日程等

次回の第2回学校運営協議会は11月上旬を予定している。

【配付資料一覧】

- ①次第 ②学校運営協議会名簿 ③学校運営協議会実施要項 ④学校運営協議会運営計画
⑤傍聴規則 ⑥学校経営計画 ⑦授業アンケート ⑧使用教科書一覧
⑨学校教育計画 ⑩学校要覧 ⑪小学部・中学部・高等部見学のしおり ⑫参考資料

【展示】

- ・平成30年度使用教科書